

ベトナムにおけるエコツーリズムの持続可能な開発 (ケーススタディ:コンダオ島のエコツーリズム)

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Hoang Quynh Chi)

はじめに

ベトナムの経済の中心は農業分野からサービス分野に移行しており、観光産業はベトナム経済において重要な役割を果たすようになってきた。2013年、ベトナムは海外から750万人以上の旅行者を受け入れ、その数は2012年比で10.6%増加した。観光産業は国内総生産の4.5%を占め、230万人の雇用を創出し、国全体の総雇用者数の9%以上を占めた（【参考と引用文献】(1) MPI, 2014）。そのため、観光産業は、海外直接投資を行う多くの投資家から注目されている。重工業と都市開発への投資を経て、外国投資は観光産業に集中してきた。

ベトナムにおける観光産業には、一般的な観光ツアー、ゴルフツーリズム、文化観光など様々なタイプがある。本レポートでは、ベトナムにおける持続可能なエコツーリズムの開発状況と、ホーチミン市から南東230kmに位置するコンダオ島のエコツーリズム開発のケーススタディーを紹介したいと思う。

I. エコツーリズムの持続可能な開発

エコツーリズムとは、自然環境の他に、文化・歴史等を観光の対象としながら、その持続可能性を考慮するツーリズム（旅行、レクリエーションのあり方）のことである。エコツーリズムに関連する活動はセーリング、登山、ハイキング、観察、写真撮影などがある。

2002年、世界観光機関（UNWTO）はエコツーリズムの5つの特性を明確にした。

- 自然をベースとする観光のすべての形態は、観光客がその地域を観察し、自然だけでなく文化にも敬意を表すもの。
- 自然の価値と地域文化の教育や理解を深める活動を行うこと。
- 可能な限り、専門的な旅行会社が小グループのためにアレンジし、目的地でのサービスを提供するパートナーは、地域に根ざした活動を小規模に行っていること。
- 自然環境、社会・文化環境への負の影響を最小限に抑えること。
- 自然の価値を維持するためのサポート活動：地域社会、政府機関、自然保護地域を管理している専門機関の経済的な利益を生み出すこと。地域社会に新たな雇用と収入増の機会を提供すること。地元住民と観光客に、自然や文化的な資源保護に対する意識を高めること。

（【参考と引用文献】(2) Nhan Dan, 2014）

ベトナムにおけるエコツーリズムの持続可能な開発状況を説明するため、コンダオ島のエコツーリズムを紹介する。

II. ケーススタディー：ベトナムにおけるコンダオ島のエコツーリズムの開発

コンダオ島は、ベトナム戦争時代における戦犯者の流刑地として知られており、戦後、コンダオ島といえば、無人島を意味した。つまり、その悲しい歴史から人気がなかったということだが、この島は様々な自然の美しさを残していて、歴史及び文化の保存を行ううえで魅力が感じられる地域である。1990年代、当地はエコツーリズムの目的地としての可能性が出てきたため、コンダオ国立公園（CDNP）が設立された。

他の多くの発展途上国と同様、観光による経済発展と環境問題とのバランスを取るといふ課題がある。



a. 概要・背景

南シナ海に位置し、コンダオ本島と15の小島で構成され、人口は約4200人である。CDNPは面積が2万ヘクタール、そのうち、森林面積が6000ヘクタール、海洋面積が1万4000ヘクタールで、ベトナムで二番目に大きい海洋公園である。また、2014年11月1日、CDNPをラムサール条約湿地に認定する証明書の受領式が行われた。【参考と引用文献】(3) Con Dao Park のホームページ)

b. 文化的・歴史的遺産と自然環境

CDNP といえば、絶滅寸前の動物と300種以上の木との生態的多様性が有名である。高いレベルの生物多様性及びエコツーリズムの可能性があるため、コンダオ島は海洋保護区に関する世界銀行の地球規模システム（World Bank's Global System of Marine Protected Areas）の“最優先地域”（“Area of Highest Regional Priority”）に指定された。

【参考と引用文献】(4) Sustainable Tourism, 2002)

また、エコツーリズムの要件を満たすため、自然環境だけではなく、文化的・歴史的遺産に関する持続的な開発をする必要がある。コンダオ島は、フランスによる植民地化の際に建設された刑務所の複雑な建築様式や、フランス植民地時代に処刑された2000

人の国家主義者の墓地が有名である。コンダオタウン及びコンダオ歴史博物館も人気がある。

c. インフラ環境

コンダオ島は長い間、隔離された島であったため、移動手段が限られている。天候によっては、観光客はヘリコプターまたは船だけでしか行くことができない。そのため、コンダオ島を訪れる観光客は毎年平均 20 万～25 万人である（【参考と引用文献】(5) Vietrade, 2011 年）。

また、コンダオ島ではインフラもまだ完全に開発されていない。電気の使用量も限られていて、CDNP 以外の地域は島民と観光客の需要量より少ない。食品、設備など他の資源は船またはヘリコプターで運送しなければならない。

一方、環境問題もある。新規アクセスを可能にする道路建設による土壌浸食及び有害廃棄物の不法投棄があり、海洋環境が汚染の脅威にさらされている。

d. コンダオ島におけるツーリズムの意義

コンダオ島にとって、エコツーリズムは経済的利益をもたらすだけでなく、島民の生活を改善することができる方策でもある。また、政府と世界機関が訪問者に島の生物多様性を気付かせることで、自然環境を保護することができる。そのため、エコツーリズムの開発は人間生活も自然環境も改善できる。島民の仕事を増やし、彼らは他の世界とも接する機会がどんどん増えていく。

e. 開発方法

エコツーリズムの開発を進めるには、公園管理委員会及び政府だけでなく島民の協力も必要となる。住民に供給される果物や野菜を植えるため、CDNP 内で小規模な農業用地が開発され、環境保護計画を支援して参加する地元の先生や生徒達が多いようである。

また、国有林の中の海洋動物及び樹林を保存するためのボランティア活動等に直接参加することで、観光客や島民が自然環境の保護により関心を持つようになることが考えられる。こうした活動は、各世代の環境意識を向上させる目的がある。若い人々も、公園内にポスターやお知らせの掲示をするなどのサポートを行っている。

終わりに

上記により、観光産業、特にエコツーリズムはベトナムの経済開発、人々の貧困削減、文化・環境保全において重要な役割を果たす。しかし、コンダオ島のケースから、エコツーリズムを開発すると同時に環境保全にも注目しなければならないことがわかる。私たちは、ベトナム政府及び外国と協力し、様々な改善策を実施する必要がある。

【参考と引用文献】

- (1) Ministry of planning and investment portal (MPI), “ADB hỗ trợ Việt Nam cải thiện cơ sở hạ tầng du lịch vì mục tiêu tăng trưởng đồng đều (安定的に発展するため、ADBはベトナムにインフラに関して支援する)”(2014/11/26)
<http://www.mpi.gov.vn/pages/tinbai.aspx?idTin=564&idcm=188>
- (2) Nhan dan cuoi tuan, “Huong du lich sinh thai phat trien ben vung (エコツーリズムの持続可能な開発)” (2014/08/22)
<http://www.nhandan.com.vn/cuoituan/chuyen-de/item/24117402-huong-du-lich-sinh-thai-phat-trien-ben-vung.html>
- (3) Con Dao Park Home page:のホームページ : About Con Dao National Park (コンダオ公園について)
<http://www.condaopark.com.vn/en/about-con-dao-national-park.html>
- (4) Rob H., Tony G., Peter W., 2002. *Sustainable Tourism: A global perspective*, Oxford: Elsevier Science. (1) Rob H., Tony G., Peter W., (2002) *Sustainable Tourism: A global perspective*, Oxford: Elsevier Science. pp 223 - pp 225
- (5) Vietrade News “Con Dao: tiem nang va dinh huong phat trien (コンダオ島の開発ポテンシャル及び開発方針)” (2011/11/15)
<http://www.vietrade.gov.vn/vung-kinh-te-trong-diem-phia-nam/2454-con-dao-tiem-nang-va-dinh-huong-phat-trien.html>

岡山県ベトナムビジネスサポートデスクレポート